

第2回府民公募型安心・安全整備事業審査委員会の概要

日時 平成22年9月6日(月) 午後1時55分から3時30分

場所 丹後広域振興局峰山総合庁舎第3会議室

委員	京丹後市社会福祉協議会長	梅田耕之助
	与謝野町婦人会顧問	小牧恵子
	宮津市建設室長	前田良二
	京丹後市建設部長	大村隆
	伊根町地域整備課長	泉良悟
	与謝野町建設課長	西原正樹
	京都府教育庁管理部管理課長	石田齊
	京都府警察本部交通部交通規制課長	富永良介
	京都府丹後広域振興局企画総務部長	大槻博司
	京都府丹後広域振興局建設部長	山崎隆

平成21年度実施決定箇所の進捗状況について

土木事務所分、信号機関係ともに全て発注済だが、工事完成割合は土木事務所分で6月末現在を3.4ポイント上回る62.6%。信号機関係は、6月末現在を19ポイント上回る61.9%。全体では、6月末現在を3.9ポイント上回る63.6%。

今年度の公募状況について

4月1日から7月30日までの応募期間で府全体は(集計中で今後数字の変更あり。)1,576件で昨年度2,334件の約68%。丹後局は402件で昨年度616件の約65%(不受理案件はなし)。

前回52件の審査終了、今回審査件数は182件で、未審査数は168件となる。

技術審査結果について

○土木事務所分

提案数173件 実施すべきもの122件 実施しないもの51件

○教育委員会分

提案数1件 実施すべきもの1件

○警察関係分

- ・今年度分 提案数8件 実施すべきもの4件 実施しないもの4件
- ・既要望分(昨年度第4回審査委員会で実施せず(調整中)となっていた案件で実施の見込みが立った案件) 提案数1件 実施すべきもの1件

委員の主な意見等

〈質疑〉

Q: 審査の結果、大規模工事を理由に実施しないという回答を提案者へ行う場合、納得を得られる丁寧な説明に心掛けて欲しいが、どのように回答するのか。

A: 実施できない理由をわかりやすく伝えるとともに、実現するための方策がある場合はその内容説明を記載するなど工夫していきたい。

Q: 警察既要望分の案件で、昨年度「実施困難」と判断されたものが今回「実施する」となった理由は。

A: 実施するためには必要な右折レーン確保の工事が土木事務所で実施可能となったため、本提案を再検討したところ実施可能と判断。

Q: NO. 132などで、桜の木の伐採の話があったが、桜の木を切る場合は地元

との事前調整を十分に行っておく必要があるのでは。
A：地元区からの要望ではあるが、周辺住民の意向を再確認した上で実施したい。

審査結果

技術審査結果一覧どおり了承。

○今年度提案分

	審査件数	実施決定数	実施せず
建設部	173	122	51
教育分	1	1	0
警察分	8	4	4
合計	182	127	55

○昨年度審査分

	審査件数	実施決定数	実施せず
警察分 調整中案件	1	1	0